

No.1660

第1661 回例会

2015年3月6日(金) 12:30 ~ 13:30
点鐘

君が代斉唱

ロータリーソング “奉仕の理想”

会食(中華・\$100万ミール)

会長会務

* ビジター・ゲスト紹介。

* いよいよ春3月弥生の月が始まりましたが、来週3月11日は、4年前の2時46分に太平洋の海底を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。モーメントマグニチュード9.0で、日本周辺における観測史上最大の地震で、大きな揺れはもとより、津波による被害が沿岸部を壊滅的に破壊しました。未だに復興が進まない状況ですが、4年を迎えたらより早い復興を願います。

* 3月1日(日) 米山奨学生歓送会に出席された山田 正会員、ご苦労様でした。

* 3月は識字率向上月間です。

* 3月の結婚祝を差し上げます。

麻木宏栄 大田原俊輔 木原一志 鈴木一彦
平野敏和 山下卓治の各会員

幹事報告

* 3月16日(月)は東部5RC合同例会です。18:30~ 鶴の間、3月20日(金)例会と振替ますので、ご注意下さい。

* 例会後、定例理事会を開催いたします。

委員会報告

* 親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

* 雑誌委員会

* その他

卓話「上品(じょうぼん)の生き方のすすめ」

観世音山 圓通殿

相應峰寺 住職 小川弘真氏

先週(第1660 回例会)の記録

2015年2月27日(金) 12:30 ~ 13:30
会長会務

* 本日は職業奉仕賞表彰です。日本きのこセンター菌茸研究所所長の福政幸隆様においていただきました。後でお話伺います。

* 3月1日から来週いっぱい全国防災運動月間です。3月は冬の寒さが和らぎ、気持ちも緩んでくるので火災発生率が高くなるようです。皆様も寝タバコの自粛や、ご家庭の台所・階段・寝室等の要所に火災報知機を設置するなど予防に気を付けてください

* アメリカのグーグルが「ブロック崩し」などのゲームの攻略法を遊びながら自ら編み出し、人間以上の高得点を出せる(AI)人工知能を開発したという新聞記事がありました。人工知能が数百回以上繰り返し学習することで、人間の数倍から数十倍の高得点を得ることが出来るようになります。この技術の応用で、自動的に運転をする自動車や我々に色々な分野で役立つ知能ロボットが出現すると思います。

しかし私は少しさみしく思いました。人工知能の進化により、私達人間はこれから何をしていけば良いか判らなくなるのではないのか。経済活動は必要ですが、それだけで生きていく訳ではありません。確かに身体的弱者や高齢者には便利な社会にはなりますが、色々な意味で我々の役目・使命が変わって来るのかも知れません。

* ポール・ハリス・フェローのピンが岡本幹事に届いていますので、お渡しします。

幹事報告

* ロータリーレートのお知らせ。

3月1日より\$1 = 118円

* ガバナー事務所より、ロータリー青少年指導者養成セミナープログラム(RYLA)開催のご案内。

4月29日(水) 祝日 9:30~

ホテルサンパレス益田

木原社会奉仕委員長さん、お願いいたします。

* 鳥取大学の広報誌(風紋)を回覧いたします。

* 4月26日合同IMの登録をいたしました。

山下会長、金田副会長、生馬、岩崎、大田原、小林、坂本、鈴木、田中章夫、田中好洋、西尾茂、葉狩、瀨本、峰岸、宮本、森下、森原、山田、油谷、吉田、米村、岡本の実参加者22名に、金本、木原、児島、田中宏和、瀧本、徳吉、原田、平井、松島、矢谷の登録のみの10名を加えた32名の皆さんです。一応締め切りでしたが参加できる会員はお知らせください。登録料8,000円も近く集めさせていただきます。

出席率

2月27日 会員50名 欠席10名 80.00%

2月13日 メーキャップ 5名 92.00%

スマイル

* 山下卓治会員/①福政所長、本日は例会に出席いただき有り難うございます。②まだまだ寒い日が続きます。体調管理に気を付けてください。

* 金田卓也会員/福政所長様、この度は職業奉仕賞受賞おめでとうでございます。

* 岡本安量会員/①福政所長、本日は有り難うございます。②吉田さん、ご迷惑をおかけしています。すみません。

* 森下哲也会員/金田さん、先日はおいしい料理をご一緒させて頂き、大満足でした。

* 早退3件 合計10,000円

社会奉仕委員会 木原委員長

春の砂丘一斉清掃のご案内。4月12日(日)

出欠席を来週から伺います。

職業奉仕賞受表彰

一般社団法人 日本きのこセンター 菌茸研究所

* 米村年博職業奉仕委員長

今年度の職業奉仕表彰は菌茸研究所の皆様です。菌茸研究所は鳥取県の農業の発展のみならず、全国の農業の発展に永く寄与されてきました。本日は代表として福政所長様にお越し頂きました。

* 山下会長より福政所長に賞状と記念品を授与



* 菌茸研究所 福政所長さん

当財団の前身は昭和22年に設立された「全国椎茸普及会」です。終戦後復員してきた兵隊さんが地元に戻って来たが職が無い、その仕事をつくるために山に有る木を利用して椎茸栽培を始めました。

当時鳥取大学に日本唯一の椎茸栽培研究の教授がおられ、その門下生が初代理事長の常田修でした。復員局からの勧めもあり、当時椎茸は輸出品目としても重要であり、外貨を稼ぎ殖産興業の為に国のために役立てばという思いもあり事業が始まりました。日本全国に普及活動を行ったが信用度が低かったので国の認可を受け財団法人になりました。

全国に普及するうちに本来栽培に適さない地域での栽培や病気・育成不順などの問題が多くなり、それらを解決するために研究機関が必要となり、昭和34年に菌茸研究所が設立されました。その後新しい椎茸の品種開発や椎茸栽培の技術開発を中心に活動を行っています。

平成11年に本財団と鳥取大学は、連携・協力に関する協定を結び、菌茸研究所に「鳥取大学連携大学院」を開設しました。平成17年には鳥取大学農学部「菌類きのこ遺伝資源研究センター」との研究連携協力を開始しました。また平成24年にはブラジルのアマゾン国立研究所と研究協力協定を締結しました。

近年中国から低価格の乾椎茸が大量に輸入されるようになり、国内の栽培農家が激減しました。その打開のためにブランド化を進め「鳥取茸王」で日本原木椎茸の復権を図っています。6次産業も大事ですが、まず1次産業のきのこ産業で鳥取県を始め全国の栽培農家のお役に立てると思っています。

椎茸栽培を通して山村の暮らしを守り、山村に暮らすのが故に山を守る。山を守れば川を通じて海を守り養殖漁業を守る。山にこだわり続け、日本の山を大切にしたい。地域創生の先鋭としてこれからも頑張っていきたいと思っております。

本日は大変立派な賞を頂き、有り難うございました。

次週例会予定

2015年3月13日(金) 第1662回例会

卓話「PETSの報告」会員 金田卓也さん

(編集者 矢谷英志)